

第5回議会報告会を実施しました



令和8年2月7日（土）幸手市役所第二庁舎において、第5回議会報告会を開催し、17人の方にご参加いただきました。定例会で審議した議案などを、総務・文教厚生・建設経済常任委員会の各委員長が報告しました。その後4つのグループに分かれての広聴会を実施し、様々なご質問や貴重なご意見をいただきました。

常任委員会で先進地を視察研修しました

令和8年1月14日（水）16日（金）岡山県総社市「庁舎建設について」・岡山県総社市「小中学校英語科目の学力向上取組事例」・岡山県玉野市「道の駅の建設から運営」市議会では、3つの常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）が合同で行政視察を行いました。今後は、当市における、新庁舎建設、英語教育、道の駅構想の視察内容を精査し、研究して幸手市に見合った提案ができるように取り組んでいきます。



議会運営委員会で先進地を視察研修しました



令和8年1月8日（木）・9日（金）議会運営委員会では、議会における防災時の指針等の作成状況及びおぢや震災ミュージアムそなえ館について、新潟県小千谷市議会を視察研修しました。平成16年10月23日の中越地震では、議会として応急処置を行い、震災復興特別委員会を設置していました。平成31年には小千谷市議会災害対策本部を設置し、災害対策要綱並びに大規模災害発生時のマニュアルを制定していました。

所管事務調査をおこないました

令和8年1月30日（金）文教厚生常任委員会では、所管に対する事務に関する理解を深め、今後の参考とすることを目的に、幸手市立東小中学校開校に向けた準備状況についての調査を実施しました。当日は、市役所第1委員会室にて、教育総務課長より、調査事項について事前説明を受け、その後現地調査、帰庁後質疑応答を実施しました。今後の委員会活動に活かしてまいります。



令和8年度 幸手市一般会計予算

203億1,000万円 (前年度比) 5.3%増

主な新たな施策

- 市制施行40周年記念式典の開催(市制施行40周年事業) 2,590千円
- ペットボトルキャップによる記念品作成 869千円
- 省エネ設備による温室効果ガス排出量の削減を実施 1,000千円
- 市制施行40周年記念給食の実施(学校給食関係事業) 250千円
- 循環バスの運行やAIデマンド交通の運行を実施 59,499千円
- 未就学児童1人に年間2万円分のデジタル商品券 32,640千円
- 令和8年度から市内小・中学校の給食費を無償化 413,060千円

令和8年 3月定例会

3月定例会は2月18日から3月17日までの28日間で開催

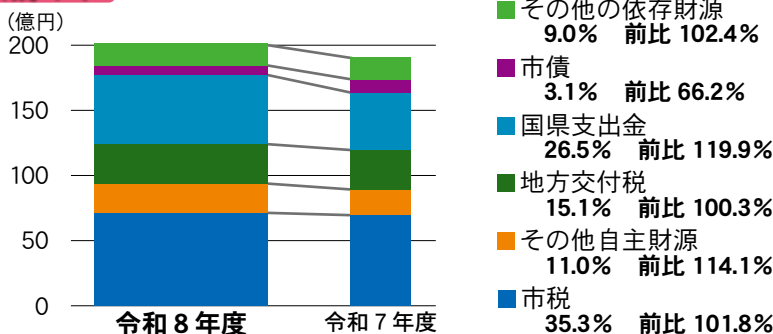
市長提出議案24件全てが可決となりました

議案15号 令和8年度幸手市一般会計予算・・・可決

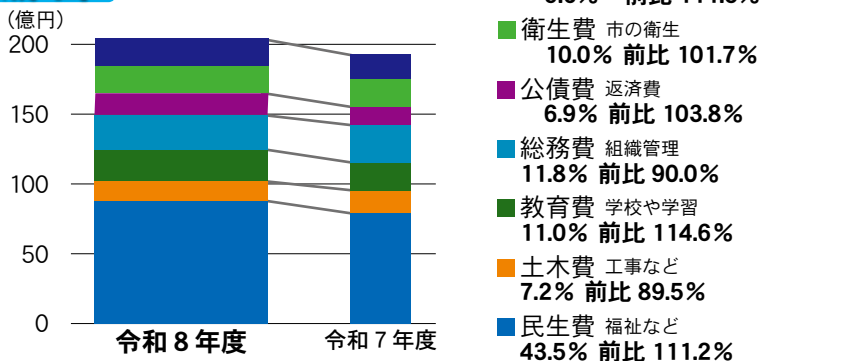
議案16号 令和8年度特別会計・企業会計予算・・・可決

議案16号 議案22号 幸手市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例・・・可決

歳入



歳出



歳出性質別 (単位：千円)

区分	予算額	前年比
義務的経費 51.0%	人件費 3,669,981	100.9%
	扶助費 5,292,354	110.5%
	公債費 1,397,011	103.8%
投資的経費 5.8%	普通建設事業費 1,178,670	87.0%
その他経費 43%	物件費 3,982,208	108.6%
	維持補修費 79,651	60.2%
	補助費等 2,341,841	110.8%
	繰出金 2,119,376	101.6%
	積立金 187,408	179.6%
	貸付金 31,500	100.0%
	予備費 30,000	100.0%
合計	20,310,000	105.3%

令和8年度 特別会計・企業会計予算

会計名 (単位：千円)	予算額
国民健康保険特別会計	5,403,567
後期高齢者医療特別会計	1,132,367
介護保険特別会計	4,632,184
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	364,765
水道事業会計(支出合計)	2,085,693
公共下水道事業会計(支出合計)	1,755,204
農業集落排水事業会計(支出合計)	54,805

※企業会計予算詳細は、市広報4月号 4ページにてご確認ください。

令和8年3月定例会
本会議議案質疑内容

(議案第9号)
令和7年度幸手市
一般会計補正予算
(第11号)
可決

質疑

土木費、上船渡橋架替事業負担金3400万円減額となり、国の補正予算分5400万増額となっている。権現堂桜堤周辺と対岸を結ぶ重要橋梁であり、今回の事業費増額により、歩道設置を含む歩行者安全対策整備が可能となるか。

答弁

新たに架け替える橋梁の幅員が現況より拡張することにより、生じる負担金である。国の交付金活用にて埼玉県に支出している減額分は国の交付金内示額に合わせて令和7年度の県への負担金を減額する補正です。国補正分は令和8年度に県が執行する工費用積橋工上部工撤去費の負担金として計上した、歩道設

置を含む安全対策工事整備に要する費用増額ではない。

(議案第15号)
令和8年度一般
会計予算
可決

質疑

空き家等除却補助金300万円が計上されているが想定件数、1件当たりの補助上限額、適用要件は。

答弁

令和8年度は10件の申請見込み。1件当たり補助額は、除却費用の2分の1とし30万円が上限です。要件は空き家等個人所有している方。対象空き家は市内にある昭和56年以前の旧耐震基準で建てられ、住宅用に供されおおむね1年以上使用されていることです。

質疑

放課後児童クラブは指定管理制度を導入し1年が経過するが、利用者の満足度や問題・課題は。

答弁

指定管理者の運営状況は毎年

1月提出の報告書内容確認、毎月1回、管理者と市担当者による定例会の開催、その実施状況把握に努めている。令和7年9月に市・保護者・指定管理者の3者意見交換の場を設け保護者からの意見要望について適宜クラブ運営に反映している。現在全ての放課後児童クラブにて保護者アンケートを実施し、3月下旬には結果を指定管理者から受ける予定。日常的な運営状況の確認や保護者の皆様からの意見を通じた把握の中では、現時点において管理者運営に関し大きな問題や課題点は生じていないと認識しています。保護者アンケート結果を踏まえ利用者の満足度や意見を丁寧把握し、来年度以降の運営に反映していきます。

質疑

工事の設計委託です。歳入の自主財源のうち市税以外、その他自主財源が増えている理由は。

答弁

第17款寄付金が1億2850万円第18款繰入金が1億3746万6千円増加。

質疑

歳出総務費が前年度より約2億6800万円の減額理由は。

答弁

自治体システム標準化に要する経費が減額、令和7年度実施の国勢調査に要する経費減額。

質疑

民生費が前年度より約8億8800万円の増額理由は。

答弁

介護訓練等給付費、障がい児通所給付費の扶助費が大幅に増加や生活保護費の増加による。

質疑

商工費が前年度より約2億4200万円増額理由は。

幸手小学校・西中学校体育館の空調設備設計業務の内容は。

質疑

幸手小学校・西中学校体育館の空調設備設計業務の内容は。

答弁

幸手小・西中体育館に空調設備を設置する工事設計業務委託です。内容は空調設備工事とそれに伴う断熱改修のほか体育館屋根の雨漏り対策や床のささくれ等に対する安全性を確保する

答 弁

ハッピーエール券発行事業予算化により大幅増額となる。

.....

賛成討論

宮澤 大地

本予算は市民生活を支えるものです。給食費無償化は子育て世帯には大きな支えになります。一方で基金は十分とは言えず持続性ある財政運営が課題です。体育館空調工事の前倒しを評価し、確実な実行を求めます。新庁舎建設は負担を抑え市民の納得が不可欠です

賛成討論

小泉 圭司

子どもと家庭を取り巻く環境を前進させる給食費無償化は重要な政策であり高く評価する。未納による不安解消や子育て環境の魅力向上にもつながる。一方で公共交通や通学環境などの課題も踏まえ、住民ニーズに丁寧に向き合う行政運営を求め、本予算案に賛成する。

賛成討論

芦葉 弘志

市内小・中学校の給食費の無償化を始め、防災・福祉・子育て・

教育・環境・地域活性化等の施策を評価します。市民生活向上と持続的発展に期待し、適正執行と柔軟対応を求めます。本予算は公明党の要望内容を多数反映しているものと評価をいたします。

賛成討論

大平 泰二

「小中学校の給食費完全無償化」に1億7837万5千円が提案された事を評価したいと思います。前回の地方選挙で、子どもが選挙公約として無償化を掲げました。また市民の方々から「完全無償化実施の請願」が出され、議会はこれを否決しました。

(会議案第1号)
幸手市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

可 決

反対討論

本田 諤子

前年度政務活動費の平均は約13万円。なぜ12万円を3倍の36万円にするのか根拠が見当たらない。上昇分360万円は紛れ

もない「市民の血税」です。高騰しているこの時期だからこそ、市民の身近な民生や福祉、教育に使われるべきと考え反対します。

賛成討論

宮澤 大地

政務活動費は市民の声を基に調査し、政策へつなげるための経費です。現行額では研修等に十分対応できない状況があります。上限引上げは若い世代の参画を後押しし、多様な人材による議会の質向上に繋がるものです。その成果が市民に還元されると考えます。

反対討論

大平 泰二

議運の委員長が「全会一致」と言う申し合わせ事項を守らず、十分な議論も無く、政務活動費を現行の3倍の36万円に引き上げる案を提示し、一方的に議案を提出したことは非常に残念です。値上げ分、360万円を予算のないアフタースクールに回すべきです。

賛成討論

小泉 圭司

政務活動費は調査研究と市民

への情報提供のための経費です。本市の月額1万円では十分とは言いがたく、調査研究や情報発信の充実を図る上で限りがあります。調査研究と情報発信の充実を図るため、月額3万円への見直しは必要と考え、本議案に賛成します。

反対討論

枝久保 喜八郎

議員活動の変更は議会改革検討委員会に諮る慣わしを無視。また、今度いつ増額出来るかわからないから一気に3倍にという思考は、市民の血税という観点から問題で、合理化・効率化に期待するとした監査委員の決算審査総括に逆行することから当該議案は不適切である。

賛成討論

四本 奈緒美

本議案は、会派代表者会議、議員全員協議会、議会運営委員会での慎重な協議を経て提出され、更に付託先の総務常任委員会にて賛成多数で可決されたものです。

23年間据え置かれた政務活動費の増額は、後進議員のための議会改革としても当然であり賛成と致します。